



JAPAN HERITAGE  
日本遺産

# 葛城 修験馬券

里人とともに守り伝える修験道はじまりの地

日本遺産認定記念シンポジウム



葛城修験ゆかりの地、和歌山・奈良・大阪の3会場で順次開催

※シンポジウムの内容は各回で異なります。詳しくはWEBサイトをご覧ください。

奈良

2.13<sup>土</sup>

定員  
125名  
(先着順)

時間 13:00~15:00 (予定)

場所 王寺町地域交流センター リーベルホール  
奈良県北葛城郡王寺町久度2丁目2番1-501



近鉄王寺駅・新王寺駅・JR王寺駅から徒歩すぐ

事前申込制 無料

詳しくは本紙  
裏面もしくは  
WEBサイトを  
ご覧ください



katsuragi-syugendo-symposium.com

主催 葛城修験日本遺産活用推進協議会 (和歌山県 観光振興課内)

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、開催中止や開催方法を変更する場合があります。また天候や諸事情により予告なく中止になる場合がございます。

シンポジウムに  
関するお問合せ

0120-189-222

受付時間 10:00~17:30(土日祝除く)



# 修験道はじまりの地のストーリーに触れる

「葛城修験」と呼ばれる和歌山～大阪～奈良の境にそびえる葛城の峰々は、修験道の開祖といわれる役行者がはじめて修行を積んだ地とされています。

“修験道はじまりの地”である葛城修験を、修験者や地域の人々が大切に守り伝えてきたこと等歴史的な背景に根ざした価値が認められ、令和2年6月に日本遺産に認定されました。

本シンポジウムは、その価値や魅力を広く情報発信することで、住民の日本遺産への理解促進を高め、地域に残されている文化や文化財の保存・活用に向けた機運を醸成することを目的としています。



奈良

# 2.13

定員  
**125名**  
(先着順)

時間 13:00～15:00(予定)  
場所 王寺町地域交流センター  
リーベルホール  
奈良県北葛城郡王寺町久度2丁目2番1-501

## 次第

1. 開会挨拶
2. 基調講演
3. 休憩
4. パネルディスカッション
5. 閉会挨拶

## 基調講演

## 山と里と人々の祈り



元山上 千光寺 住職  
**大塚 静弘**

1965年生まれ。京都市の種智院大学卒業。平成元年に真言宗醍醐派総本山の寺院である京都 醍醐寺で修行を終える。大峯修行、奥駈修行などを経て、平成20年に役行者開基の由緒ある寺院である「元山上 千光寺」の住職に就任。日夜、荒行に励まれていた役小角(役行者)は、此処より南へ二上山・葛木山・金剛山・友ヶ島を経て熊野へ、熊野から大峯山の山頂である山上ヶ嶽に登り、修行根本道場と定めた。このため、役小角が大峯山を開く以前に修行したところから、後世の人々により「元の山上(もとのさんじょう)」と呼ばれるようになった。一方、母・白専女(しらとらめ)は、役小角が大峯山に行かれてからも鳴川の里に残り修行を続けられたとの伝えから、女人禁制の吉野大峯に対し女性の修行も受け入れたため「女人山上」と呼ばれ、女人の修行道場として栄えた。

## パネルディスカッション

## 現代に受け継がれる修験道

※パネルディスカッションには、講演者である大塚 静弘氏も参加予定です。



香芝市教育委員会  
生涯学習課 主幹  
**奥田 昇**

1964年奈良県香芝市生まれ。龍谷大学文学部卒。専門分野は仏教美術で、多様な形態の円空仏と修験道との関係が研究テーマ。1992年より香芝市二上山博物館に学芸員として勤務。二上山博物館では、葛城修験に関する「役行者と葛城修験—慈悲の微笑 円空と木喰(1999)」、「役行者、二神の上の峯に登る～二上山と信仰の系譜～」(2012)等の特別展を担当。また、葛城修験では、香芝市逢坂の凝灰岩製層塔(第27経塚)と二上山の第26経塚から亀の瀬の第28経塚に至る、中世における葛城修験のルートについて調査研究を行っている。



前鬼宿坊 小仲坊 61代目  
**五鬼助 義之**  
**三津子**

義之氏は1943年生まれ。下北山村前鬼で鬼の子孫・五鬼助の61代目として生まれる。京都の大学在学中に得度を受け僧侶に。1997年に小仲坊を継ぎ、平日は大阪で会社勤め、週末は前鬼へ行き宿坊を営む。2003年の定年退職後も大阪で暮らしながら毎週土曜日に宿坊に通う生活を続けている。三津子氏は1948年鳥取県生まれ。京都・大阪で育つ。「五鬼助」とは、役行者に仕えた鬼の夫婦「前鬼」と「後鬼」の5人の子どもの名の一つ。ほかに「五鬼雄」「五鬼上」「五鬼童」があり、それぞれ「森本坊」「行者坊」「中ノ坊」「不動坊」という宿坊を営み、修験者の道案内、道の整備、食料の供給などに携わってきた。

和歌山会場・大阪会場の詳細はWEBサイトにて順次お知らせします

## 申し込み方法

以下3つの方法から1つを選びお申し込みください。

※当選は先着順となります。※当選された方には申込方法に応じた形で入場チケットをお送りいたします。

## WEBサイト

WEBサイトの申し込みフォームから必要事項を明記しお申し込みください。  
katsuragi-syugendo-symposium.com



## FAX

右の申込用紙に必要事項を記入し、本紙をそのままFAXでお送りください。

FAX送付先 **06-6539-7882**

## ハガキ

右の申込用紙に必要事項を記入し、枠に沿って切り取り、官製ハガキに貼り付け事務局までお送りください。

株式会社オレンジ内「日本遺産シンポジウム事務局」  
〒550-0013大阪府大阪市西区新町1-28-11 安川ビル6F

申込締切

令和3年2月10日(水)

※定員に達し次第、締め切らせていただきます。

FAX・ハガキ  
申込用紙

株式会社オレンジ内  
「日本遺産シンポジウム事務局」行

濃い目のペン等で記入してください

氏名	ふりがな	同伴者 氏名	ふりがな	ふりがな
住所	〒			
電話番号		緊急 連絡先		
メールアドレス		FAX 番号		
参加 会場	奈良会場 2月13日(土)			

※当選は入場チケットの発送をもって代えさせていただきます。※入場チケットは、申込方法に応じた形でお送りいたします。※個人情報の取扱いについてはWEBサイトをご覧ください。